

『計画推進の基本姿勢』について

1 考え方

急激な人口減少や超高齢化の進行に伴い、労働力不足や経済成長の鈍化など、様々な課題に直面する中、総合計画を適切に推進し、基本構想に掲げる目標を達成するためには、共助の精神により、若者や高齢者を含め県民みんなが担い手としていばらきづくりを進めていくことが何より重要である。

また、県民の多様なニーズに的確に対応し、課題の解決を図るためには、本県の優れた地域資源や潜在力を最大限に活かしていくとともに、近隣都県等との広域連携や、市町村への権限移譲など、各自治体との連携や適切な役割分担を進めていく必要がある。

加えて、県は、限られた行政資源を有効に活用しながら、効果的かつ効率的な行政運営に努めていくとともに、計画を適切に進行管理し、目標に向けて施策を実施していくことが求められている。

2 基本姿勢（骨子）

- (1) 全員参加のいばらきづくり
 - ・「みんなで創る」方策
- (2) 地域資源を最大限に活用
 - ・優れた地域資源の活用方策
- (3) 広域連携と権限委譲
 - ・各自治体との連携と役割分担
- (4) 適切な進行管理と行財政改革の推進
 - ・PDCAサイクルの活用
 - ・不断の行財政改革推進
- (5) 部門別計画との役割分担
 - ・総合計画と部門別計画との役割分担の整理、体系

3 論 点

- 基本理念（案）にある「みんなで創る」を具現化するには、どのような仕組み・方策があるか。

○ 参考（現計画）

1 みんなで創る「いばらき」

<姿勢>

地域づくりの主役である多様な主体が、計画の基本理念や目標をしっかりと共有し、「新しい公共」という考え方も踏まえながら、様々な活動に取り組み、互いに連携・協働して、「生活大県いばらき」をみんなで創っていきます。

2 茨城の地域資源や潜在力の活用

<姿勢>

県内それぞれの地域が持つ豊かな地域資源を最大限活用し、調和のとれた魅力あふれるふるさとづくりを進めます。

3 行財政改革の推進

<姿勢>

危機的な財政状況を克服し、必要な行政サービスを安定的に提供できるよう、組織・人員のスリム化や事務事業の抜本的な見直し、職員の意識改革など、引き続き徹底した行財政改革を推進するとともに、時代の潮流や県民の意見などを踏まえて、重要性や緊急性の高い施策に、重点的かつ横断的に取り組みます。

4 「生活大県プロジェクト」の推進

<姿勢>

プロジェクトの目的を明確化し、分野横断的に取り組むとともに、モデル事業の設定等により、新たな取組にもチャレンジするなど、多様な主体と連携しながら「生活大県プロジェクト」を積極的に推進します。

5 地方分権の推進と地町村・近隣県等との連携

<姿勢>

県と市町村は、地域の課題や情報をしっかりと共有し、それぞれの役割分担を踏まえながら、効率的・効果的に“いばらきづくり”を進めます。

県域を越えた行政課題に対応しながら、本県の発展を図っていくため、近隣県との広域的な連携や、県境を越えた交流を促進します。

6 計画の適切な進行管理

<姿勢>

PDC Aマネジメントサイクルを活用し、施策や事業の見直し・改善を図り、「生活大県プロジェクト」をはじめ、計画全体の適切な進行管理を行います。

7 総合計画と各部門別計画との役割分担の明確化

<姿勢>

総合計画と各部門別計画は、相互補完関係にあり、役割分担を明確にするとともに、緊密な連携を図りながら一体となって着実に取組を推進していきます。